



2021年9月
第17号

静岡市のボランティア情報紙

はとな通信



「はとな通信」は、静岡市社会福祉協議会に寄せられた市内のボランティア情報を掲載しています♪

～ お話聞かせて！学生ボランティアインタビュー ①～

今後ますます若い世代の参加が必要とされるボランティア活動ですが、「忙しくて時間がない」「活動に関する情報がない」という理由で興味があっても活動できない方も多くいます。

そこで今回は、学業の合間にボランティア活動をしているみなさんにお話を伺いました。

静岡福祉医療専門学校 総合福祉学科

3年 ^{おおすぎ}大杉 ^{ゆうか}優香 さん・2年 ^{いしかわ}石川 ^{りおな}璃央菜 さん・2年 ^{にしむら}西村 ^{ゆう}ゆう さん
2年 ^{おおき}大木 ^{もえむ}萌夢 さん・1年 ^{おがさわら}小笠原 ^{ゆうと}悠斗 さん・1年 ^{つちや}土屋 ^{くみ}公美 さん

①ボランティア活動を始めようと思ったきっかけは何ですか？

大杉さん：福祉の授業で地域について学びました。地域について興味をもち、活動を通して学びを深めたいと思ったからです。

石川さん：高校の時からボランティアに興味がありました。

学校内だけでなく学校外での活動もしたいとより強く感じ、様々な方々と関わりながら活動していきたいと思ったのがきっかけです。

西村さん：将来福祉の仕事に就きたく、様々な経験を積みたいと思ったからです。

小笠原さん：ボランティア経験を積み今後の学習などに活かしたいと考えたことがきっかけです。

土屋さん：社会人になってからも役立つ経験になり、人の役に立ちたかったからです。



②ボランティア活動に参加して学んだこと気づいたことはありますか？

大杉さん：様々な方と関わる事が増え、表情やコミュニケーションを通して人への魅力をたくさん見つけられる活動だと思いました。

石川さん：様々な視点と広い視野をもって活動することで多くのことを学べると気づきました。

大木さん：異なる年代の人達と関わることで、人とのつながりが増えました。ボランティアは強制されるものではなく、自主性が大切だと学びました。



③今後、どの様に活動をしていきたいと思えますか？

大杉さん：地域行事等の地域に密着しているボランティアに参加したいです。

西村さん：困っている方々の支援に繋がる活動や、身近にできる活動など様々な分野に参加したいです。

小笠原さん：子どもから高齢者、障がい者の方など様々な人と関わっていきたくと考えています。

土屋さん：コロナ禍の今だからこそ出来るボランティア活動をしたいです。 2面に続く

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業内容・施設利用等が一部変更になる場合がございます。

～ お話聞かせて！学生ボランティアインタビュー ②～

静岡県立静岡高等学校 2年 にしはら かすみ 西原 加純 さん



① ボランティア活動を始めようと思ったきっかけは何ですか？

図書館で『いまあなたにできる、50のこと』という本を読んだのがきっかけです。将来、国際協力に携わりたいと思い、国際協力や福祉関連の本を読んでいてこの本と出会いました。高校生の私でもできる小さなことが書いてあり、将来ではなく、今から何か人のためにできることがあるのではないかと思います。ボランティア活動を始めました。

② ボランティア活動に参加して学んだこと気づいたことはありますか？

人のためにすることは自分のためにもなるということです。初めは困っている人を助けたいという思いが強かったのですが、ボランティア活動を通して段々笑顔の増えている自分に気づきました。ボランティア活動先で仲良くなった友だちや、進路についてアドバイスして下さる方など多くの温かい人に出会えたことは本当に嬉しかったです。活動を終えた時に「次はいつ来るの？」と尋ねてくれる人や小さい子がいて、ボランティアは縁を広げてくれるものだと思います。

③ 今後、どの様に活動をしていきたいと思えますか？

私がずっと掲げている目標「相手と同じ目線に立つ」ということを日頃から意識しており、助けが必要な人の目線に立って、必要なことを自分で考えて行動したいと思っています。またボランティアでも活動場所の人に親しみを持ってもらえるようになりたいです。今は十分に役に立てないこともあると思うので、ひとつひとつの役割を果たせるようになりたいです。

【問合せ】ボランティアセンター葵（担当：伊藤）TEL：054-249-3183

あおい介護者パートナーズ 介護者ほっ！とおしゃべり会

「あおい介護者パートナーズ」は、みなさんの悩みや不満を話し合える「おしゃべり会」を通して、介護者同士のつながりづくりをお手伝いをします！

と き：毎月20日 13:00～15:00

と ころ：城東保健福祉エリア 保健福祉複合棟
(葵区城東町24-1)

対 象：現在家族の介護をしている方

参 加 費：無料

問 合 せ：ボランティアセンター葵

T E L：054-249-3183（担当：伊藤）

※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止とさせていただきます。



地域交流まつり中止のお知らせ

毎年11月に城東保健福祉エリアで開催しております「地域交流まつり」については、コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止させていただきます。

毎年、地域交流まつりを楽しみにご来場いただいている皆様、開催にあたりご協力頂いております。関係機関や出展団体様には、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

問 合 せ：地域福祉交流プラザ

T E L：054-249-3183（担当：大場）



New

視覚障がい者のテニス ブライントテニスをやってみませんか

目が見えなくてもテニスができるよう工夫された“ブライントテニス”という競技を知っていますか？「たのしく テニスを やろうよ」の頭文字をとって「TTY」（ティーティーワイ）というグループがあります。視覚障がい者と一緒にテニスをやりながら活動をお手伝いしてくれる人を募集しています。一緒にテニスを楽しみましょう！



短時間でも大丈夫なので、ぜひお問合せください！

と き：毎月第2日曜日 13:00~17:00
 ところ：静岡県総合社会福祉会館（シズウェル）
 （葵区駿府町 1-70）

と き：毎月第4日曜日 10:00~17:00
 ところ：西豊田小学校 体育館
 （駿河区曲金 2-8-80）

持ち物：体育館シューズ、飲み物、動きやすい服装

問合せ：ボランティアセンター駿河
 TEL：054-291-5288（担当：大石）

学習ルームあしたば 学校と家庭以外の居場所がここにあるよ

様々な家庭の事情で思うように勉強ができなかったり、周囲とうまくコミュニケーションがとれず不登校になってしまう子が増えています。勉強したいと思っている子どもたちが自由に参加できる学校以外の学びの場をつくりたいと考えました。指導スタッフとして子育て支援や家庭教師の経験のある社会人の有志ボランティアが、学校のワークを活用して一緒に学習に取り組みます。



内 容：算数(数学)・英語の学習指導、
 その他必要に応じて個別サポート

と き：毎月2回 日曜日 10:00~12:00
 ところ：みなくる（南部図書館2階）

対 象：小学4年生~中学3年生

※塾に通うことが難しい学習意欲のある子

後 援：静岡市、静岡市教育委員会

協 力：駿河区地域福祉推進センター

問合せ：子どもサポートプロジェクト明日葉
 TEL：054-374-3154（担当：加藤）

New

ちょっとした困りごとのお手伝いを一緒にしてくれるメンバー大募集！

「生活応援ボランティアするが」は、公的制度だけでは支えられない日常生活上の「ちょっとした困りごと」のお手伝いを通して、その方の気持ちに寄り添い、一緒に活動することでつながりを作り、その方のくらしの応援をしていきたいと願い発足したボランティアグループです。あなたにも“できること”がきっとあります。一緒に活動してみませんか？まずは定例会へお越しください♪

定 例 会：毎月第3水曜日 13:30~14:30
 と ころ：みなくる会議室（駿河区南八幡町 3-1 南部図書館2階）



【活動について】

対 象：駿河区区内にお住いの高齢者、障がい児・者、子育て世帯、介護中のご家族、生活困窮世帯など

内 容：お話し相手や趣味活動の相手、住居の荷物整理・片付け、引越し荷造り など

時 間：1回あたり1時間程度

問 合 せ：ボランティアセンター駿河
 T E L：054-291-5288（担当：大石）





清水災害ボランティアネットワーク主催事業

水害後の家屋への適切な対応について学ぼう

近年頻発している風水害。被害にあってしまった後、どのように対応すれば良いのでしょうか。過去の被災地支援活動の経験や知見をもとに、被災後の対応についての実践型講習会を開催します。

と き：9月26日（日） 13：00～16：00（12：40 受付）

ところ：はーとぴあ清水 6 階多目的ホール

対 象：災害ボランティアに興味のある方、地縁組織の方など

内 容：水害の状況について、水害後の対応についての実践演習

参加費：無料（要事前申し込み）

定 員：20 名程度

申込み・問合せ

清水災害ボランティアネットワーク 大石（ohishi@mars.dti.ne.jp）

ボランティアセンター清水（vc-shim@shizuoka-shakyo.or.jp）

TEL：054-371-0290 FAX：054-367-2825



講師

松山 文紀 氏

（災害対応 NPO MFP 代表）

清水災害ボランティアネットワークってなに？

2002 年に清水区で立ち上がった災害ボランティア団体です。主な活動内容は、次の3つです。

- ① 災害時のボランティアセンター立ち上げ・運営支援
- ② 最近の被災地支援活動（避難所での足湯、お茶会活動等）
東日本大震災（福島県新地町）、熊本地震（熊本県嘉島町）、西日本豪雨（広島県呉市）など
- ③ 平時は災害に関する研修会の開催や、地域の防災訓練・避難所宿泊訓練への協力
毎月第 4 水曜日 19：00～ はーとぴあ清水にて定例会を開催しています。

静岡県東部豪雨災害での活動について

沼津市・富士市では災害ボランティアセンターの運営支援に関わり、現地での被災者のニーズ調査やボランティアの受付などを行いました。

熱海市の避難所では D-WAT（災害派遣福祉チーム）による健康体操の補助を行いました。

今回の豪雨災害において、日ごろの訓練で繋がっていた県内外の支援者と災害ボランティアセンターが協力して、連携をとれた活動を行うことができました。平時から支援団体や関係機関と繋がりを持ち、災害が起きた際に迅速に対応できるような関係作りが大切だと感じました。



大石 学 氏

（清水災害ボランティアネットワーク代表）



避難所で足湯の提供をしている様子



災害ボランティア講座の様子

高校生ボランティアグループ

「チーズケーキ」メンバー募集！！

市内の高校生で集まってみんなでボランティア活動に参加してみませんか？
主におもちゃ図書館のイベントの紙芝居やペープサートの披露や、障がいを持つ子どもと一緒に遊んでいます。「やってみたいボランティア活動があるけど、一人では不安だな」「仲間作りをしたいな」「学生でもできるボランティアってどんなものがあるんだろう」など、どんな動機でも構いません！昨年度にメンバーが全員卒業してしまったので、新しい「チーズケーキ」として活動してくれるメンバーを募集します！毎月2回ほど定例会を開いていく予定です。相談・見学だけでもかまいません☆
ぜひ、一緒に活動してみましよう！

と き：定例会 毎月金曜日（不定期）18：30～20：30

ところ：はーとぴあ清水 ボランティアビューロー

問合せ：ボランティアセンター清水（担当：鈴木）

T E L：054-371-0290 MAIL：vc-shim@shizuoka-shakyo.or.jp



New

リフト車の操作方法を学ぼう

リフト付・スロープ付車両操作講習会

清水区地域福祉推進センターでは、車いすや寝たきりの方が利用できる「リフト付・スロープ付車両」の貸し出しを行っています。車両操作講習会に参加して「運転ボランティアそよかぜの会」の仲間に入り、障がい者や高齢者の送迎支援活動をしませんか？

と き：10月23日（土）13：30～15：30

ところ：はーとぴあ清水 3階 大会議室

- 対 象：◎普通自動車運転免許（AT限定可）を取得してから1年以上の方
◎ご家族・身近な方との外出をお考えの方
◎運転ボランティアに興味のある方（健康状態良好な70歳までの方）

持ち物：免許証・筆記用具

参加費：無料

申込み：清水区地域福祉推進センター

T E L：054-371-0291

締 切：10月15日（金）



初めての方でも安心♪一緒に始めよう

「点字講習会」受講生募集中！

言葉を「点」であらわす「点字」を学んでみませんか？点字を打つ体験をしながら、視覚障がいについての理解を深め、将来的に活動できるアイボランティアを養成する講座です。電話または下記二次元コードから申し込みできます。

と き：10月 6日（水）・13日（水）

10月20日（水）・27日（水）

11月10日（水）・17日（水）

いずれも18：30～20：30 全6回

と ころ：はーとぴあ清水

講 師：清水点訳グループ「あかつき」

対 象：市内在住または通勤・通学している方

定 員：20名

締 切 日：9月27日（月）必着

参 加 費：無料 テキスト代590円

問 合 せ：ボランティアセンター清水

T E L：054-371-0290（担当：村松）



※新型コロナウイルスの影響で、
事業の内容が変更になる場合があります。

素直な言葉

努力は夢中に勝てない

元陸上選手 為末 大



令和3年度7月 静岡県内大雨による豪雨災害への支援について

このたびの豪雨災害によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

県東部を中心とした豪雨災害については、「静岡県災害ボランティア本部」のホームページから情報発信しています。

いまだ捜索活動の続く熱海市伊豆山地区の災害ボランティア情報については、熱海市社会福祉協議会のホームページ内の「災害ボランティア情報特設ページ」からご覧いただけます。現地での活動や活動人数の報告なども掲載されています。8月18日現在も、二次災害の可能性があり、ボランティア活動ができるエリアが狭いため、事前登録していただいた熱海市在住の方限定で、20~30名程度の方での活動が開始されています。現在は熱海市在住の方以外の災害ボランティア事前登録は停止されています。

現在被災地では物流も正常に機能しており、物資で不足しているものがないため、支援物資の受付は行っておりません。

義援金やふるさと納税などの遠くからでもできる被災者への支援、支援活動を支える支援金もあります。

詳しくは、「災害ボランティア情報特設ページ」のホームページからご覧いただけます。

【静岡県災害ボランティア本部 <https://shizuokavc.jp/>】

【災害ボランティア情報特設ページ <https://shizuokavc.jp/atami/>】

ボランティアセンター葵



静岡市葵区城東町 24-1

城東保健福祉エリア 保健福祉複合棟 1階

静岡市地域福祉交流プラザ内

TEL:054-249-3183

aoi@shizuoka-shakyo.or.jp

ボランティアセンター駿河



静岡市駿河区南八幡町 3-1

静岡市立南部図書館 2階

静岡市地域福祉共生センター「みなくる」内

TEL:054-291-5288

suruga@shizuoka-shakyo.or.jp

ボランティアセンター清水



静岡市清水区宮代町 1-1

静岡市清水社会福祉会館

「はーとびあ清水」1階

TEL:054-371-0290

vc-shim@shizuoka-shakyo.or.jp

【発行】（社福）静岡市社会福祉協議会



はとな通信の発送に多くの方のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

ボランティアセンターイメージキャラクター「はとな」

はとな通信は、赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

